

令和5年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会事務局学務課
施設名称	24	東京都台東区立少年自然の家「霧ヶ峰学園」	指定管理者	株式会社ニッコトラスト
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 継続特例	<input type="checkbox"/> 非公募	指定期間
				R4.4.1 ~ R9.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 優れた自然環境の中で集団生活を通して、心身ともに健全な少年の育成を図るとともに、区民の健康増進及び余暇活動を促進する。
(2)	[所在地] 長野県諏訪市大字上諏訪字角間沢東13338-100 [規模] 敷地面積73,925.65㎡ 建築延面積7,236.70㎡ 管理棟、宿泊棟、体育館、運動場、野外炊飯施設など定員230名
(3)	[委託事業] 利用受付、料金等徴収、賄い、利用者支援、自販機設置、情報提供、急病人対応、遺失物保管、危機管理、建築物・設備等保守管理、備品等管理、清掃、外構・植栽等管理、廃棄物処理、簡易無線局運用など [自主事業] 特別料理・飲料の販売、貸切バスツアー
(4)	[利用者] 区立学校、区内社会教育団体、区内団体、区内在住・在勤者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 休館日：10月から3月の火曜日、水曜日（但し、年末年始、祝日及び祝日の前日は開館）
(6)	[人員体制] 11名 （内 訳）支配人（1）、施設管理（2）、栄養士（1）、調理長（1）、調理員（4）、清掃（2） （前年増減）増減なし（年度途中で支配人が変更し、マネージャーを兼任したことによる減と清掃1名増）

2. 予算決算		R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
収入	委託料（指定管理料）	81,314,000	81,314,000	79,777,000	79,777,000
	利用料金収入	2,282,000	651,150	2,303,000	1,287,550
	その他収入（ 賄材料費等 ）	15,128,000	1,808,100	17,536,000	11,964,090
	計	98,724,000	83,773,250	99,616,000	93,028,640
支出	人件費	37,010,000	33,185,594	35,506,000	34,137,501
	光熱水費	11,075,000	9,435,121	10,900,000	13,256,262
	維持管理費（委託料・賃借料）	10,478,000	11,894,457	13,094,000	13,126,417
	修繕費	1,547,000	1,486,880	1,500,000	1,315,380
	事業費	14,795,000	1,579,285	17,370,000	9,973,547
	その他支出（ 燃料費・業務管理費等 ）	23,819,000	24,626,687	21,246,000	24,670,224
	計	98,724,000	82,208,024	99,616,000	96,479,331
収支			1,565,226		-3,450,691

3. 活動指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
年間開館日数	日	317	79	106	318
小中学校宿泊日数	日	72	0	7	76

4. 成果指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	人	15,000	458	1,359	8,441
利用率	%	30.0	10.8	9.7	29.1

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

自主事業であるスキーツアーの周知方法については、見直しを図り、新たな周知方法を取入れたことにより、参加者数の増加につながった。施設利用者アンケートの回収率が低迷している課題については、見直しや改善は見受けられなかった。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	法令等を順守し、適正な管理体制がとられているが、報告書等、一部書類の提出が遅れることがあった。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	利用者数は、前年度に比べて増加したものの目標値には届いていない。中学校林間学園の一部中止や一般利用客の利用控えから新型コロナ流行前の水準までは戻っていない。衛生管理の取り組みをPRするとともに、引き続き利用率向上を図ることが必要である。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	継続的に建物保守、清掃・衛生管理、修繕を行い、施設の適切な維持管理に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	接客態度や食事内容等、利用者から高い満足度を得ている。利用者アンケートを実施して満足度調査に努めているが、回収率が低いため、アンケートの回答方法や意見の聴取方法の工夫が必要である。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	収支項目は、光熱水費や燃料費が予算を上回る額が支出されたが、不可抗力事項であるため、指定管理者の責めに帰すべき事由ではない。他の収支項目は、新型コロナの影響を鑑みなければ適正である。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

適正 (89 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>アンケートの回収方法を工夫し利用者意見をさらに運営に反映させるとともに、魅力的な自主事業の実施等により施設の認知度を高め、衛生管理に対する取り組みもPRしながら、引き続き利用者数の向上を図る必要がある。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>利用者満足度は高いが、アンケートの回答率が低迷している。昨年度に引き続き、回答率向上に向けた取組みや要望・意見等を聴取する仕組みを工夫する必要がある。また、円滑な管理運営のため、早急に退職者の補充をする必要がある。</p>
--------------------	--	--